



— 講演 —

菅野 聰

(大船渡市協働まちづくり部生涯学習課)

「公共文化ホールにおける
災害時の役割と課題」

山本 拓海

(東京海上日動火災保険株式会社)

「公共文化ホールの保険と
事業継続」

— 総合討論 —

津村卓 (ファシリテーター・
キッセイ文化ホール館長)

公共文化ホールにおける 発災から事業継続 災害対応を考える

公共文化ホールは、アーティストと利用者、周辺環境によって育まれる唯一無二の存在です。したがって災害発生時の対応はホール毎で異なるとともに、避難所指定の有無に関わらず、発災後の避難所対応の必要性は過去の事例からも明らかです

本会は、災害時の公共文化ホールの様々な課題を共有し、その対応を検討する絶好の機会です。広く防災に关心を持つ方々の参加を期待します。

2025年12月8日(月)13:00~16:15
キッセイ文化ホール国際会議室
(長野県松本市水汲69-2)

講演会終了後
情報交換会あり

申込はこちら
裏面もご覧ください



主催: キッセイ文化ホール (長野県松本文化会館) 長野県文化振興事業団

共催: 東京海上日動火災保険株式会社 伊那谷財団

後援: 長野県 大船渡市 松本市 松本市芸術文化振興財団 浅間温泉観光協会

東日本段ボール工業組合

概要

2025年早春、岩手県大船渡市山林火災を皮切りに全国各地で山火事が発生し、地震・台風以外の災害への備えが意識されました。大船渡市はリアス海岸の風光明媚な景観を有し、海が視界に入らなければ長野県の中山間地の様相です。したがって今後発生しうる長野県内の山火事災害の対応モデルにもなり得ます。

大船渡市民文化会館リアスホールは2011年東日本大震災と本年の山林火災の避難所となりました。東日本大震災時の避難所運営が山林火災の避難所運営の経験値となった反面、新たな課題も見えてきました。そこで、上記2つの避難所運営に携わった大船渡市役所の菅野さんにお話いただきます。

そして被災後のホール再開は、地域住民の日常生活再建のシンボル、アーティストにとって活動を再始動する大切なフェーズとなります。しかし、ホール再開後も多様な課題が出現するため、平時から被災後の事業継続も含めて考えることが重要です。そこで、様々な企業へリスクコンサルタント支援を行っている東京海上日動の山本さんに、これまでのBCP事例をもとに公共文化ホールの事業継続についてお話をいただきます。

以上の話題をもとに、地域における文化芸術の振興や全国各地のホール立ち上げに携わった津村キッセイ文化ホール館長をファシリテーターに「公共文化ホールの地域でのあり方と災害対応」について、皆様も交えて討論を行います。終了後には情報交換会を実施しますので、ぜひご活用ください。

横山 俊一

タイムテーブル

- 12:30 受付開始
13:00-13:20 趣旨説明 「文化芸術×防災 災害時の
公共文化ホールの役割は?」
横山 俊一
(キッセイ文化ホール)
13:20-14:10 講演①
「公共文化ホールの災害時の役割と課題」
菅野 聰
(大船渡市協働まちづくり部)
14:15-15:05 講演②
「公共文化ホールの保険と事業継続」
山本 拓海
(東京海上日動火災保険株式会社)

- 15:15-16:00 総合討論
「公共文化ホールの地域でのあり方と
災害対応」
ファシリテーター：津村 卓
(キッセイ文化ホール館長)
16:05-16:15 閉会挨拶
「これからの公共文化ホールの役割」
山本 晋司
(長野県文化振興事業団 常務理事)
16:15-16:45 情報交換会（無料）
総合司会 矢澤 ひかり（キッセイ文化ホール）

講演者



菅野 聰 (かんの そう)

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課
岩手県大船渡市出身。
1999年に大船渡市役所に入庁。2019年から図書館、市民文化会館を担当し、現在は生涯学習課で2館の指定管理と文化芸術を担当。
大規模林野火災では、地区本部長として避難所運営にあたり、並行して市民文化会館指定管理との調整にあたった。



山本 拓海 (やまもと たくみ)

東京海上日動火災保険株式会社
長野支店松本営業第一支社所属
神奈川県横浜市出身。心は信州人。
令和3年、4年の福島県沖地震、令和5年の能登半島地震の際には現地へ赴き地震保険の査定対応を経験。現在は中南信エリアの企業に対するリスクコンサルティング支援を主務とし、地域防災・減災に向けた活動を行っている。剣道五段。

総合討論登壇者



津村 卓 (つむら たかし)

信州アーツカウンシル長兼キッセイ文化ホール館長。
大阪市出身。劇団の立ち上げと演劇作品のクリエーションに携わった後、全国の公立ホール・美術館の支援を行う（一財）地域創造のプロデューサーに就任。まつもと市民芸術館の立ち上げや上田市サンミュージアの館長を務める。文化芸術と地域社会の協働・共創の良き関係を模索している。



白澤 千恵子 (しらさわ ちえこ)

長野県文化振興事業団職員として長野県立歴史館の建設業務を担当後、信濃美術館、県民文化会館、事業団事務局を経て、キッセイ文化ホール勤務。地域における持続可能な文化拠点のあり方を具現化する文化事業の推進に取り組む。長野県立大学大学院において、公共経営について研究中。趣味はプラクティンシンセサイザーを使った音作り。



参加申込

表面QRコードまたは下記URLよりGoogleフォームにてお願いします。
<https://forms.gle/L2zGNveVGMiMnEUW6>



問い合わせ

以下のメールまたは電話にて担当の横山まで
s.yokoyama.r@naganobunka.or.jp (●@に変えてください)
Tel: 0263-34-7100 (キッセイ文化ホール)